

まき網漁業(雇用型)

漁業の概要

内房の富津市天羽地区、館山市、外房の鴨川市では、まき網漁業が営まれています。

内房のまき網漁業は東京湾口付近、外房では前浜の沖合を中心にブリ類、サバ類、イワシ類、アジ類などを狙って操業しています。一部の経営体は近海カツオ竿釣り漁船が餌に使用する活イワシの供給を担っています。

周年操業しており、夜間に操業することが多くあります。また、漁場が広いため、魚群を見つけるために探索船を利用していることが多いです。

大量の水産物を供給するため、地域にとって重要な漁業です。



まき網漁業の操業

対象魚種	ブリ類、サバ類、イワシ類、アジ等
漁船の規模	本船(網船)、探索船、運搬船等15トン未満船6～7隻
乗組員数	30人程度
年間労働日数	230～240日(陸上作業含む)
技術習得期間	1年程度

漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

月 給	20万円+歩合
賞 与	有り(経営体により異なる)
備 考	—

※漁師.jp求人情報より引用

※年、資源状況等によって変動することがあります。

年間操業計画

対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全魚種												

1日の操業スケジュール例

1:30 ～	集合・出漁準備
2:00 ～	出港
2:00 ～ 9:00	操業（移動時適宜休憩等）
9:00 ～ 10:00	帰港・水揚げ作業
10:00 ～ 12:00	片付け・メンテナンス・解散

就業と漁労作業

まき網漁業は大人数で役割分担して操業するため、小型船舶免許等が無い未経験者でも就業が可能です。

漁労作業としては、ソナー、魚探で魚群を探し、大きな網で魚群を囲みます。海中で網口を絞り込んで、引き揚げていき、ある程度網を絞り上げたところで、運搬船の甲板上に大ダモで魚をすくい入れて選別を行います。

乗組員から技術と経験を積んで船長や大型船の漁労長に当たる船頭を目指すことになります。また、漁協の組合員となって独立し、漁船を取得して小型漁船漁業を行う例もあります。